

第33回 松下幸之助花の万博記念賞『松下正治記念賞』

受賞のお知らせ

この度、当法人の理事（前代表理事）である河井大輔が、公益財団法人 松下幸之助記念志*財団が運営する『松下幸之助花の万博記念賞』の「松下正治記念賞」を受賞いたしました。2025年2月1日にリーガロイヤルホテル（大阪）にて贈呈式および講演会が開催されたことをご報告いたします。

松下幸之助花の万博記念賞は「自然と人間との共生」という花の万博の基本理念の実現に貢献する、すぐれた学術研究や実践活動を顕彰するもので、学識経験者からの推薦にもとづき、松下幸之助花の万博記念賞選考委員会が選考し、財団理事長の承認を経て受賞者が決定されます。また松下正治記念賞とは、植物の保全・教育・園芸文化の普及継承や出版・創作・情報発信などを通じて社会に貢献した個人 またはグループ 1 件に贈呈されるものです。

なお、本件についての報告のため、下記日時に青森県宮下知事への表敬訪問を予定しております。

*志 = こころざし

※青森県知事表敬 予定

日時 2025年2月27日（木）16:30～16:45

場所 県庁2階第二応接室

花の万博記念賞とは

松下幸之助花の万博記念賞は、1990年に大阪鶴見緑地で開催された花の万博の理念を後世に伝えるため、財団法人松下幸之助花の万博記念財団(現 公益財団法人松下幸之助記念志財団)によって1992年に創設されました。「自然と人間との共生」という花の万博の基本理念の実現に貢献するすぐれた学術研究や実践活動および社会貢献活動を顕彰することを目的とし、日本在住の個人またはグループを対象に「松下幸之助記念賞」「松下幸之助記念奨励賞」「松下正治記念賞」を贈呈し、本年度より「松下正幸園芸賞」を増設いたしました。

本賞は、今年創設33年目を迎え、自然と人間が共生する豊かで潤いのある社会の実現を目指し、環境の世紀と呼ばれる21世紀の地球と人類の平和と繁栄に貢献すべく、一層の努力を傾けたいと念願しております。

(第33回松下幸之助花の万博記念賞 贈呈式および講演会案内より)

第33回

松下幸之助花の万博記念賞

松下幸之助記念賞		受賞理由 パラの生産シミュレーションモデルを開発し、品質と収量の予測によって生産効率を向上させることで、花卉の生産と品質管理の研究分野で多大な貢献をした。さらに、施設園芸において、環境負荷を軽減する技術を推進し、持続可能な農業の実現を目指す実用性の高い研究によって、産業界にも広く貢献した功績
 ど い もと あき 土井 元章 京都大学名誉教授	講演題目 園芸と園芸学 — 園芸はおもしろい —	
松下幸之助記念奨励賞		受賞理由 博物館標本から遺伝情報を得るという新しいアプローチを開発し、野外調査と組み合わせることによって、絶滅危惧種の保全や減少要因の解明において顕著な成果を上げ、保全遺伝学研究の分野を大きく進展させた。また、生物の魅力や保全の重要性、研究成果を発信することで社会へ大きく貢献した功績
 なか はま なお ゆき 中濱 直之 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 准教授 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部 主任研究員	講演題目 故きを温ねて新しきを知る — 博物館標本を活用した生き物の保全研究 —	
松下正治記念賞		受賞理由 奥入瀬自然観光資源研究会を設立、奥入瀬渓流における蘚苔類等「隠花植物」の現況調査を通じて資源管理・観光発展に尽力した。また、多くのガイドブックを発行することで自然の魅力を発信し、エコツアーに関する思想を奥入瀬に限定されない普遍的なモデルケースとして示した功績
 かわ い だい すけ 河井 大輔 特定非営利活動法人 奥入瀬自然観光資源研究会 理事	講演題目 『歩く』観光地から『観る』野外博物館への転換 — 奥入瀬フィールドミュージアム構想の実現に向けて —	
松下正幸園芸賞		受賞理由 食虫植物普及の第一人者として、大阪咲くやこの花館の栽培技術者に指導をおこない、同館の食虫植物展示に大きく貢献した。また、多くの植物園に対する栽培技術指導、視察対応、株譲渡などをおこなうことによって、国内の食虫植物展示を広く支えてきた功績
 ど い ひろ ぶみ 土居 寛文 兵庫県立フラワーセンター 専門員	講演題目 食虫植物の魅力と栽培の普及 — 未来への植物遺産 —	

第33回 松下幸之助花の万博記念賞 贈呈式・講演会



第33回 松下幸之助花の万博記念賞 贈呈式・講演会



※2025.2.1 贈呈式・講演会 リーガロイヤルホテル（大阪）にて

▷ 河井大輔略歴

■河井大輔

1964年	生誕
1984年4月	札幌学院大学法学部法律学科 入学
1988年10月	株式会社ギミック フィールドグラフィックマガジン RISE（ライズ）編集部
1989年3月	札幌学院大学法学部法律学科 中途退学
1992年4月	野生生物系ライター & 編集者 環境影響評価調査野生鳥類調査業務受託（フリーランス）
2007年4月	株式会社ノースビレッジ（ネイチャーガイド）
2014年2月	特定非営利活動法人奥入瀬自然観光資源研究会 代表理事
2024年5月	特定非営利活動法人奥入瀬自然観光資源研究会 理事（現職）

奥入瀬の「隠花植物」に関する現況調査を軸に、自然環境の保全と観光資源の持続的な利用を両立させるための数々の取り組みを行う。特に、同地のエコツーリズム推進において、奥入瀬観光を従来の単なる「風景の観賞」にとどめるのではなく、知識と発見を提供する「学びの場」として位置付ける新しい観光モデル＝奥入瀬野外博物館（フィールドミュージアム）構想を提唱。各種ガイドブックや解説書の制作を通し、奥入瀬の自然の魅力と価値を伝えることで、自然環境に対する理解・保護意識の向上を目指している。著書に『奥入瀬自然誌博物館』『奥入瀬フィールドミュージアムガイドブック』『奥入瀬 diary』『奥入瀬自然百景ハンドブック』『奥入瀬溪流コケハンドブック』『奥入瀬溪流きのごハンドブック』など。

▷ NPO 法人奥入瀬自然観光資源研究会の概要

奥入瀬を「天然の野外博物館」に見立て、その魅力と価値をアピールするための自然観光資源リサーチや刊行物の制作、ガイド研修会や講演会の開催、隠花植物鑑賞を主としたスローペースなネイチャーツアーの企画提案などを行う

«本件に関する問い合わせ先»

NPO 法人奥入瀬自然観光資源研究会 事務局 玉川 えみ那

TEL/FAX : 0176-23-5866 MAIL : info@oiken.org